

第48号

発行：令和2年4月

会員数：195名（3月末現在）

（家族会員=19名、個人会員=176名）

発行責任者：飯田 秀

編集責任者：出口 孝次

松浦武四郎記念館友の会

友の会だより

友の会事務局：

松阪市小野江町 383

松浦武四郎記念館内



「友の会」のHPは、松阪市HPの中にあります。

<http://www.city.matsusaka.mie.jp/site/takesiro/tomonokai.html>

（松阪市で検索してね）

「会長の挨拶」

会長 飯田 秀

今年は、干支最初の「鼠年（子年）」であり、気持ちを若く新しい気持ちで、日々の健康管理に留意しながら、何事にも取り組んでいきたいと思います。

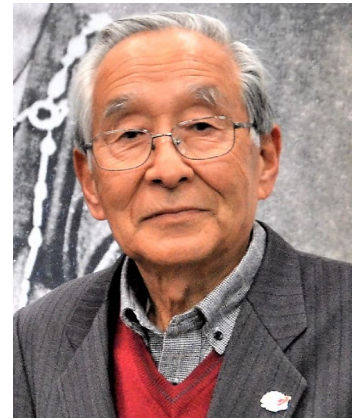
人口に占める高齢者の割合と単身世帯率は、高まっており、人口減少時代の中で、人と人のつながりを深め、人生を豊かに一人ひとりの心を通わせていくことが大切な時代になっています。

我々「友の会」としても、様々な活動を通じて、会員の方々の親睦を深めることで、武四郎の顕彰に繋がればと思っておる次第です。

昨年は、中日新聞全国版の「この人」に、「友の会」代表として掲載して頂き、我々の取り組みが全国の方々に広まったことに感謝しております。

昨年11月、初めて武四郎誕生地の母屋で「友の会の歩み」を写真とコメントを入れて展示したところ、市内外の方々から本にして発行しないかと云うご意見を頂戴しました。それを切っ掛けにして、18ページに及ぶ冊子を発行することができました。この冊子で、我々の活動が今以上に多くの方々に理解していただき、武四郎の顕彰が広がることを期待しております。

今期は、「友の会」が育成管理に努めているエゾヤマザクラの移植があり、開花が楽しみです。これから、皆様方のご支援とご協力を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

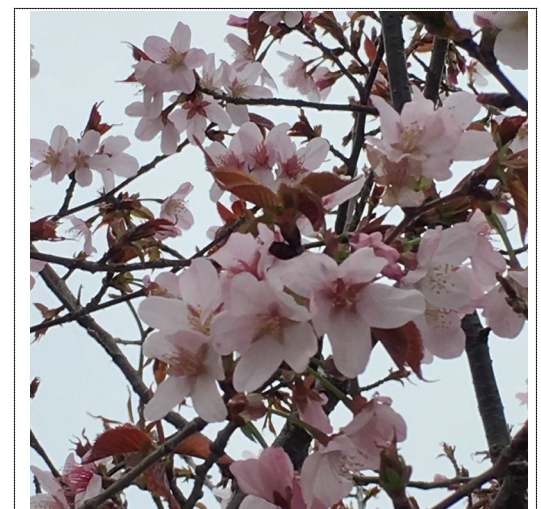


「友の会」が育成管理をしている蝦夷山桜の移植

エゾヤマザクラは、北海道原産の桜で、移植が難しいとこのことで、「友の会」が北海道新聞から北海道千本桜運動として寄贈された時に移植方法の説明書を頂いており、植木屋さんに依頼し、それを基に移植いたしました。

今回、小野江小学校の児童クラブの建設に伴い、出入口になる場所に植わっているエゾヤマザクラは、11月16日、記念館裏広場に移植しました。

また、小野江公民館建設についても、桜2本と桜看板が出入口と重なるとのことで、市の関係者と飯田会長が移植予定場所へ出向き相談した結果、公民館建設予定地の南側と防火水槽の西側付近へ移植することになりました。



2018年のエゾヤマザクラ

会員交流懇談会「ご意見のまとめ」

貴重なご意見
ありがとうございました！

○武四郎の足跡を訪ねる神鏡拝観ツアー

- ・新入会員も増えており一度訪れた天満宮でも良いので、ぜひ継続してほしい。
- ・遠方であるが、福岡県に在る太宰府天満宮へも行ってみたい。
- ・道明寺天満宮は、平成23年に拝観しているが、ぜひ拝観ツアーをお願いしたい。
- ・聖蹟25霊社の中で、神鏡が不明な天満宮へもお参りしたい。→・前向きに考えています。

○ウォーキングの関係

- ・小原の四季桜の写真が新聞に載っていたが、実際に旅行会社のツアーで参加したが、桜と紅葉が一度に見え周辺を眺めながらのウォーキングは絶景であったので、計画に入れてもらえたら。
- ・街道ウォークの計画の中で、伊勢街道・奥津・美杉方面や伊勢本街道（諸木野の弥三郎家～石割峠）などのウォーキングも良いのでは。

○市政バスツアーの関係

- ・市の施設は全て見学しているが、新しい会員も居られるのでぜひ計画に入れてほしい。
- ・市政バスで、旧長谷川家・旧小津家などと合わせて、武四郎記念館や誕生地を巡るツアーを市の方でも計画してほしい。

○友の会だよりの関係

- ・他団体との交流会計画を載せる時に相手団体の内容を知らせてほしい。
- ・武四郎誕生地での展示計画を友の会誌へ載せてもらえたら。
→・全て載せるスペースは無いため友の会関連の展示だけとなります。

○その他

- ・石水博物館との交流会をさせてもらってから龍泉寺学芸員にぜひとも武四郎記念館で講座をお願いしたい。（※武四郎と川喜多家とは深い関係があると聞いています。）
- ・11月に、誕生地で「友の会の歩み」を展示したところ、市外の方々から興味を持たれ、本を発行しないかとの話があり、ぜひとも実現を。
→・前向きに考え、少ない発行数ですが作ってみました。販売もします。
- ・友の会役員が拓本をされておられ、会議室を借りて、拓本の体験研修をしてはどうか。その時は、代表の西村さんにも言葉がけしては。→・前向きに考えています。
- ・11月3日の全日本大学対抗駅伝大会に友の会として、横断幕を作成して国道で応援しましたが、北海道からの反応は。
→・特に公式の反応はありません。知らなかったと思われ。北海道新聞へは会長から連絡し、「まど」欄に掲載されました。それを会員交流会の時に掲示しました。
- ・来年は、参加大学から応援用の旗などを送ってもらって、横断幕と旗で応援しては。
- ・来年も、ぜひ北海道代表を応援してほしい。
- ・昨年も意見がありましたが、コミュニティバスの便が少なく土日の運行は無いため、武四郎記念館や誕生地へ行けるようレンタサイクルを中川駅に設置してもらいたい。



数人だと安心して、話せました！

「武四郎まつり」が開催されました！！

令和最初の第25回「武四郎まつり」が2年2月23日(日)に開催されました。参加されました会員の皆様、ありがとうございました。少し風が強く肌寒くはありましたが、好天に恵まれて、松阪市内外からたくさんの方が来られました。新型コロナウイルスが流行していることで、開催が危ぶまれましたが、アルコール消毒を徹底して、館内などマスク着用をお願いするなど万全の体制で皆さんの協力を得て無事終了することができました。北海道の感染拡大をうけて「札幌大学のウレシパクラブ」の方々が参加できないということもありましたが、「旭川チカッポニ・アイヌ民族文化保存会」の古式舞踊を2回見せて頂くということで対応できたので良かったです。

開会式の前にカウントダウンショーとして急遽「白老アイヌ協会」の皆さんが古式舞踊を披露して頂きました。開会式には、北海道からもお客様をお迎えすることが出来、昨年の武四郎生誕200年、北海道命名150年の節目を越えてさらなる深まりを感じさせる日となりました。

また、今年から武四郎まつりの予算を国のアイヌ政策推進交付金を使うことになったこともあり、内閣官房アイヌ総合政策室長が挨拶し本年4月24日に開業する「民族共生空間：ウポポイ」のPRを行いました。

さらにサプライズで、歴史作家河治和香さんに「がいなもん：松浦武四郎一代」で中山義秀文学賞を受賞し広く武四郎さんを紹介して下さったことへの感謝状授与を行いました。

その後、三雲中学校による吹奏楽の演奏、小野江小学校の児童武四郎守り隊による武四郎学習の発表として劇「武四郎物語」、アイヌ古式舞踊、たけちゃんとジャンケン大会、記念撮影、松阪しょんがいにソーラン、しょんがいに踊り、お菓子まきが行われました。

館の外では、武四郎スタンプラリーの他、初めて街道マルシェ、人力車で武四郎誕生地へなども行われ、五千人数の参加者が楽しんで頂けたのではないかと思います。

友の会としては、例年のブースに渚滑川連携研究会の方々をむかえ、一緒に図書の販売を行いました。テント内に展示していたパネルは、館のロビー手前の玄関に展示しました。ゆっくり見て頂くことができたかどうか、立ち止まる方が少なかったのではないかなと思います。

書籍販売などをお手伝いいただいた方々にお礼申し上げます。

「武四郎の蝦夷漫画への思い」(武四郎講座に参加して:会員の感想) 高橋 雅士

講座の感想というより講座を聴いて私が考えたことです。

まず、武四郎は、いつ、どこで北斎漫画(1814~1819)を見たのか。私の推測では「14歳、川喜多氏に滞留す(自伝)」の1行から、14歳(今の中1位か)のとき、4歳年下の弟分石水の父(政安)に、2~3日ではなく、もっと長く滞留をすすめられ、そこで、北斎漫画ばかりでなく、おばけの浮世絵、からくり人形、観光ガイド、古銭や玩具、それこそ、13歳の少年が度肝を抜かれるようなショックを受ける物を見せてもらったわけだ。文章を書くことは、平松楽齋から学んだらうけど、絵や古物収集、何よりも旅への思いに火をつけたのは、川喜多政安だと、私は想像している。

さて、本題、武四郎の蝦夷漫画への思いとは？ 単に字を読めない和人にもアイヌの文化を知ってもらいたいと思ったわけではない。ここがポイントである。文字文化を持っていなかったアイヌの人々にも、とりわけ子どもたちにも、アイヌの文化・風習を見せたかったのではないか。

蝦夷漫画は、和人の子どもにも大人にも、アイヌの子どもにも大人にも、アイヌの文化、風習が、どんなに歴史があり、素晴らしいものかを伝える武四郎のメッセージであった。



開会式



友の会ブースに渚滑川連携研究会



【記念館よりお知らせ】

☆記念館講座のご案内

- 4月12日(日)10:00～テーマ：中止
5月10日(日)10:00～テーマ：中止
6月14日(日)10:00～テーマ：未定 講師：未定
7月12日(日)10:00～テーマ：未定 講師：未定
8月9日(日)10:00～テーマ：未定 講師：未定

☆展示のご案内

5月19日～7月12日「旅に生きた武四郎」

松浦武四郎は旅を志し、生涯を旅に生きました。武四郎の旅が、歩く、見る、知る、記す、伝えるものであったことを、残された資料から紹介します。

7月14日～9月6日「武四郎の蝦夷地調査」

武四郎は幕末に6度におよぶ蝦夷地調査を行っていますが、その調査記録は、のべ151冊にのぼります。武四郎が出版した紀行本などの著作や、武四郎に贈られたアイヌ民族資料を中心に、調査の様子やアイヌの人々の姿を紹介します。

【友の会よりのお知らせ】

神鏡を訪ねるバス旅行の延期

5月25日(月)に大阪方面の道明寺天満宮、長洲天満宮などを訪ねる予定でしたが、新型コロナウイルスが広がっており、秋に延期することになりました。

「松阪の偉人たち」展(松阪偉人顕彰団体協議会主催)について

松浦武四郎記念館友の会としては武四郎の功績、友の会活動の展示をする予定です。

期間：令和2年7月8日(水)～12日(日) 時間：午前9時半～午後4時半

初日のオープニングセレモニーは10時～10時半 ※最終日は午後3時まで

開催場所：松阪市文化財センター 第1～第3ギャラリー

総会の中止

今年は、5月10日(日)の武四郎講座が中止になったことで、講座の後に行う予定だった令和2年度総会を中止させていただきます。そこで、役員全員と監事の12人にて総会要項を確認の上、同意いただきました。ご覧になりたい方の為に、記念館事務所前の本立てに置きます。

会費の納入について

新年度の年会費を、9月末までに納入してください。納入いただけない方は、退会されたものと致します。納入については、役員又は記念館事務所へお届けください。来ることができない方は、お問い合わせください。

※新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大により、本県でも感染確認された人が35人(4月18日現在)にもなり、県外からの入館者も多いことから、本記念館での多人数の会は自粛せざるを得なくなっています。また、4月20日から5月7日まで、休館させていただきます。

皆様には、ご不自由をおかけしています。

「松浦武四郎記念館友の会のあゆみ」を発行しました。購入したい方は、記念館受付にて、会員限定で100円です。また、記念館で貸出もします。指名・連絡先を記入して頂きますようお願いいたします。その場で閲覧することもできます。

次回の発行は、
8月の予定です。

